

函南町ゆかりの 源頼朝の時代の人物について調べよう

作成：函南町立図書館

2021. 12. 24

2022年1月9日から放送開始のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は鎌倉幕府二代執権・北条義時を主人公とし、源平合戦と鎌倉幕府が誕生する過程で繰り広げられる権力の座を巡る駆け引きが描かれます。

この大河ドラマには函南町ゆかりの当時の人物も登場します。それぞれどのような人物だったのか、どのような生涯を過ごしたのか、函南町とどのような関わりがあったのかなど、ぜひ調べてみましょう。

調べ方プロセス

1. 関連するキーワードを考えてみる
2. 参考図書（レファレンスブック）で調べる
3. 新聞・雑誌で調べる
4. 関連図書を探す

参考 1. 関連図書の例

参考 2. インターネット情報

1. 関連するキーワードを考えてみる

事前に、調べたいことのキーワードを決めてから調査をはじめると効率よく調べることができます。「函南町ゆかりの源頼朝の時代の人物」に関連するキーワードを考えてみましょう。

例) 鎌倉時代、伊豆武将、源氏、北条氏、執権、仁田氏、比企氏、狩野氏、工藤氏、源頼朝、乳母、比企尼、高源寺、石橋山合戦、石橋山の戦い、宗時神社、北条宗時、仁田忠常、仁田館、歴史人物、中世、伊豆国、鎌倉殿、御家人、鎌倉幕府……など



2. 参考図書（レファレンスブック）で調べる

調べたいことがどんな内容なのか確認するため、参考図書で調べてみましょう。

☆参考図書（レファレンスブック）とは……特定の知識・情報について調べるための図書。

辞書・事典や百科事典などのこと。主なものは2階レファレンスコーナーにあります。

●所蔵している参考図書の例 ※排架場所が分からない場合は職員にお尋ねください。

タイトル	出版社	出版年	請求記号
静岡県歴史人物事典	静岡新聞社	1991	K280シ
伊豆大事典	羽衣出版	2010	K030イ
日本古代人名辞典	東京堂出版	2009	R281.0ア
日本古代中世人名辞典	吉川弘文館	2006	R281.0ニ
日本史大事典（全7巻）	平凡社	1992～2004	R210.0ニ
国史大辞典（全15巻）	吉川弘文館	1979～1997	R210.0コ
鎌倉北条氏人名辞典	勉誠出版	2019	R281.0カ



3. 新聞・雑誌で調べる

時事問題を調べる時は新聞・雑誌を使用します。特に新聞データベースを使えば、新聞記事や一部の雑誌記事をキーワード検索することができます。利用は2階カウンター職員にお申し込みください（図書館内のみで利用可能です）。また、実際に所蔵している新聞（原紙・縮刷版）・雑誌の種類や保存期限などは職員にお尋ねください。

●函南町立図書館で利用できるデータベース

日経テレコン21	聞蔵Ⅱビジュアル
静岡新聞・伊豆新聞・伊豆日日新聞・熱海新聞・日本経済新聞 など	朝日新聞・知恵蔵（現代用語事典）・アサヒグラフ など

4. 関連図書を探す

・方法1 キーワードを入力して検索する。

蔵書検索機（OPAC）、または図書館のホームページの蔵書検索で、上記1～3で集めたキーワードを入力して検索します。

・方法2 図書館の棚を実際に見て探す。

・地域資料の棚

函南（四角い水色の別置シール） 伊豆（四角い灰色の別置シール）
歴史・伝記・地理（K200～） などから探します。



参考1. 図書館で調べることができる関連図書の流れ

※配架場所がわからない場合は
職員にお尋ねください。

●仁田 忠常（にった ただつね） ※大河ドラマ「鎌倉殿の13人」演：高岸 宏行（ティモンディ）

伊豆の豪族、仁田忠行の三子として仁安2年（1167）4月10日仁田に生まれ、五人兄弟の真ん中として育ち、「仁田四郎」と称した。治承4年（1180年）石橋山合戦に参加して以来、源頼朝の信任を得た。建久4年（1193）富士の巻狩での猪退治、曾我兄弟の兄十郎祐成を討ったことでも有名である。建仁3年（1203）北条時政の謀略により加藤景廉に討たれて死亡。墓は函南町仁田地区の仁田宅内にある。

- ・『函南町誌 上巻』函南町誌編集委員会／編，函南町，1974（K212力）
pp. 93-96 仁田忠常がどのような人物だったのか、どのように活躍していたのか、時系列で詳細にまとめられている。
- ・『韮山町史 第10巻』韮山町史編纂委員会／編，韮山町史刊行委員会，1995（K212ニ）
pp. 495-497 富士の巻狩のときの様子や、37歳のときに加藤景廉に討たれて死亡したときの状況がまとめられている。
p. 519 仁田氏館跡の図面が掲載されている。
- ・『ふるさと百話 第1巻』静岡新聞社／編，静岡新聞社，1977（K204フ）
pp. 71-77 武将列伝のページの中に「仁田忠常」の項目があり、詳細にまとめられている。
- ・『函南町の文化財（第二版）』函南町文化財保護審議委員会／編，函南町教育委員会，1983（K709力）
p. 19 「仁田忠常の墓」の項目において、仁田忠常の略歴が書かれている。墓の写真も掲載あり。
- ・『伊豆の頼朝』田文協編集委員会／編，静岡県田方地区文化財保護審議委員等連絡協議会，1979（K212イ）
pp. 149-150 仁田忠常がどのような人物だったのかがまとめられている。
- ・『伊豆の源氏』静岡県東部振興センター／編，源氏に関する連絡協議会，1990（K210イ）
pp. 63-66 仁田忠常の活躍ぶりがどのようなものであったかが簡単にまとめられている。
- ・『静岡県人物志』静岡県／編，臨川書店，1974（K280シ）
pp. 23-24 「仁田四郎」の項目において、仁田忠常の略歴が書かれている。
- ・『新編日本古典文学全集 53 曾我物語』小学館，2002（918シ）
「曾我物語」は鎌倉時代の曾我兄弟の仇討ちを題材にした軍記物語であり、仁田忠常も登場する。巻末に「人名・神仏名・地名索引」があり、仁田忠常がどのページに登場するか検索できる。
- ・『史伝小説仁田四郎忠常』戸羽山 瀚／著，仁田家家史編纂部，1935
（※当館所蔵なし。静岡県立中央図書館に所蔵あり。）
史実や伝説などあらゆる情報を取り入れ、仁田忠常について一冊にまとめられている。
- ・『来光川遺跡群1 平成11～16年度一級河川来光川河川改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第156集 仁田館遺跡』
静岡県埋蔵文化財調査研究所／編，静岡県埋蔵文化財調査研究所，2005
（※当館所蔵なし。静岡県立中央図書館に所蔵あり。）
仁田忠常及びその後の仁田家の居館跡である「仁田館遺跡」の発掘調査報告書。
pp. 17-19 仁田氏についての記述があり、仁田忠常についても取り上げられている。
- ・『伊豆武将物語』小野 真一／著，文芸社，2012
（※当館所蔵なし。静岡県立中央図書館に所蔵あり。）
pp. 192-213 仁田忠常の経歴や晩年、有名な伝説などが詳細にまとめられている。
また、仁田氏の館や家系についても書かれている。



●比企尼（ひきのあま） ※大河ドラマ「鎌倉殿の13人」演：草笛 光子

源頼朝の乳母。函南町の大竹地区に比企尼に関する言い伝えが残っており、比企庄に移る以前に一時的に大竹に居住していたという説がある。

- ・『函南町誌 上巻』函南町誌編集委員会／編，函南町，1974（K212力）
pp. 85-87 大竹（函南町）に残されている比企尼の伝説について、史料に基づく考察が書かれている。
- ・『探訪比企一族』西村 裕／編・著，木村 誠／編・著，まつやま書房，2015（K288タ）
比企氏について一冊にまとめられており、比企尼についても取り上げられている。
pp. 258-266 函南町との関わりについて書かれている。

- ・『**葦山町史 第10巻**』**葦山町史編纂委員会／編**，**葦山町史刊行委員会**，1995（K212ニ）
pp. 442-445 函南町に伝わる比企尼とその一族の伝承について、史料に基づいてまとめられている。
高源寺（函南町桑原）境内にある比企尼の供養塔の写真も掲載されている。
pp. 449-452 頼朝をめぐる女性についてまとめられており、比企尼についても取り上げられている。
- ・『**伊豆の源氏**』**静岡県東部振興センター／編**，**源氏に関する連絡協議会**，1990（K210イ）
p. 6 源頼朝の伊豆配流後、源頼朝の乳母の比企尼と安達盛長（比企尼の長女の婿）が大竹（函南町）に移り住み、葦山（伊豆の国市）に住む源頼朝のもとに通って世話をしていたと書かれている。
pp. 48-49 高源寺（函南町桑原）に残っている伝説の紹介がされており、比企尼に関する伝説についても書かれている。高源寺境内にある比企尼の墓の写真も掲載されている。
- ・『**伊豆の頼朝**』**田文協編集委員会／編**，**静岡県田方地区文化財保護審議委員等連絡協議会**，1979（K212イ）
pp. 17-19 比企尼と伊豆配流後の源頼朝との関わりについて詳細にまとめられている。
大竹（函南町）にあったとされる比企氏屋敷跡についての考察もまとめられている。
- ・『**「鎌倉」の時代**』**福田 豊彦／編**，**関 幸彦／編**，**山川出版社**，2015（210.42力）
pp. 223-225 源頼朝の挙兵と比企尼について簡単にまとめられており、比企尼と函南町との関わりについても書かれている。
- ・『**武蔵武士団**』**関 幸彦／編**，**吉川弘文館**，2014（213.4ム）
pp. 114-115 比企尼についてのコラムのページがあり、経歴などがまとめられている。
本書では、源頼朝の伊豆配流後、比企尼は武蔵国比企郡に移ったとあり、大竹（函南町）での居住についての説は取り上げられていない。
- ・『**函南町の文化財（第二版）**』**函南町文化財保護審議委員会／編**，**函南町教育委員会**，1983（K709力）
p. 39 「比企尼の墓」の項目の中で、比企尼についてわずかに記述されている。墓の写真も掲載あり。

●北条 宗時（ほうじょう むねとき） ※大河ドラマ「鎌倉殿の13人」演：片岡 愛之助

初代執権・北条時政の嫡男で、源頼朝の正室・北条政子や二代執権・北条義時の兄。治承4年（1180年）石橋山合戦で戦死した。函南町の大竹地区に北条宗時を祀った宗時神社があり、境内には北条宗時と狩野茂光の墓が並んでいる。

- ・『**函南町誌 上巻**』**函南町誌編集委員会／編**，**函南町**，1974（K212力）
pp. 87-91 石橋山合戦での状況や宗時神社についてまとめられている。
- ・『**函南町の文化財（第二版）**』**函南町文化財保護審議委員会／編**，**函南町教育委員会**，1983（K709力）
p. 20 「北条宗時の墓」の項目の中で、石橋山合戦で敗戦したときの様子について書かれている。
墓の写真も掲載されている。
- ・『**伊豆の頼朝**』**田文協編集委員会／編**，**静岡県田方地区文化財保護審議委員等連絡協議会**，1979（K212イ）
pp. 104-105 「北条宗時の墓」の項目の中で、石橋山合戦での状況や宗時神社について書かれている。
p. 129 北条一族の紹介ページの中に「北条宗時（三郎）」の項目もあるが、二行しか記載はない。
- ・『**伊豆の源氏**』**静岡県東部振興センター／編**，**源氏に関する連絡協議会**，1990（K210イ）
pp. 50-53 石橋山合戦で敗戦したときの様子が書かれている。大竹（函南町）にある墓の写真も掲載。
- ・『**葦山町史 第10巻**』**葦山町史編纂委員会／編**，**葦山町史刊行委員会**，1995（K212ニ）
pp. 432-438 北条氏の出自や経歴などがまとめられており、北条宗時についてもわずかに登場する。
pp. 463-466 石橋山合戦の状況がまとめられており、北条宗時の戦死についても書かれている。
大竹（函南町）にある墓の写真も掲載されている。
- ・『**鎌倉殿と執権北条氏**』**坂井 孝一／著**，**NHK出版**，2021（K210サ）
pp. 42-60 北条氏についてまとめられており、北条宗時についてもわずかに取り上げられている。
本書では、北条政子・義時の生年から、宗時は第一子ではなく第二子とするのが妥当ではないかと推測されている。

●狩野 茂光（かのう もちみつ/しげみつ） ※大河ドラマ「鎌倉殿の13人」演：演：米本 学仁

別名「工藤茂光」。藤原南家の流れを汲む工藤氏の一族で狩野氏の祖。北条宗時同様、治承4年（1180年）石橋山合戦で戦死した。宗時神社境内に北条宗時の墓と並んで狩野茂光の墓もある。

- ・『**函南町誌 上巻**』**函南町誌編集委員会／編**，**函南町**，1974（K212カ）
pp. 91-92 石橋山合戦での状況や、大竹（函南町）の墓についてまとめられている。
- ・『**狩野氏の歴史**』（**天城湯ヶ島町誌編纂資料 第十一集**）**天城湯ヶ島町文化財保護審議会／編**，**天城湯ヶ島町教育委員会**，2004（K212ア）
狩野氏について一冊にまとめられており、狩野茂光についても取り上げられている。
- ・『**ふるさと百話 第1巻**』**静岡新聞社／編**，**静岡新聞社**，1977（K204フ）
pp. 43-47 武将列伝のページの中に「狩野茂光」の項目があり、詳細にまとめられている。
- ・『**伊豆の頼朝**』**田文協編集委員会／編**，**静岡県田方地区文化財保護審議委員等連絡協議会**，1979（K212イ）
pp. 134-138 狩野一族の紹介ページの中で狩野茂光についても詳細に取り上げられている。
- ・『**伊豆の源氏**』**静岡県東部振興センター／編**，**源氏に関する連絡協議会**，1990（K210イ）
pp. 16-17 最初に狩野氏についての紹介や略系図が書かれている。
p. 18 狩野茂光が伊豆の武将を率いて源為朝（源頼朝の叔父）を討ったときの様子が書かれている。
pp. 50-53 石橋山合戦で敗戦したときの様子が書かれている。大竹（函南町）にある墓の写真も掲載。
- ・『**静岡県人物志**』**静岡県／編**，**臨川書店**，1974（K280シ）
pp. 22-23 「工藤茂光」の項目において狩野茂光（工藤茂光）の略歴が書かれている。
- ・『**伊豆武将物語**』**小野 真一／著**，**文芸社**，2012
（※当館所蔵なし。静岡県立中央図書館に所蔵あり。）
pp. 65-97 狩野一族について詳細にまとめられており、狩野茂光についても取り上げられている。
狩野茂光の居館についても書かれている。

参考 2. インターネット情報

インターネットの情報は古かったり信憑性に欠ける場合がありますので、発信元・更新日時などを確認の上ご利用ください。

- ・**NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」**（<https://www.nhk.or.jp/kamakura13/>）
NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」公式サイト。
- ・**伊豆の国市 大河ドラマ推進事業**（<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/taiga/top.html>）
大河ドラマ推進事業のページ（伊豆の国市公式サイト内）。伊豆の国市北条家歴史散策マップや「鎌倉殿を支えた13人ゆかりの地北条の里江間の里」パンフレットなどがダウンロードできる。
- ・**鎌倉観光公式ガイド 特設サイト「鎌倉殿×13人の重臣たち」**
（<https://www.trip-kamakura.com/site/2022kamakuradono/>）
公益社団法人鎌倉市観光協会及び鎌倉市が運営している公式サイト。人物紹介や連載「鎌倉殿通信」、鎌倉殿を支えた13人の重臣ガイドブックなどが公開されている。
- ・**滑川町 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関する取り組みについて**
（<https://www.town.namegawa.saitama.jp/soshikikarasagasu/somuseisakuka/namegawamachinogaiyo/2/2878.html>）
比企地域 9 市町村（滑川町、東松山市、嵐山町、小川町、川島町、鳩山町、吉見町、ときがわ町、東秩父村）と各種関係団体によって大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会が発足され、その取り組みを紹介したページ（滑川町公式サイト内）。源氏・比企一族ゆかりの地をまとめた「比企の史跡マップ」がダウンロードできる。
また、滑川町以外の比企地域の公式サイトでも同様に取り組みのページが公開されており、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する武将や登場人物にゆかりのある史跡などをリレー形式で情報発信した比企 9 市町村広報リレー企画の広報該当ページも紹介されている。
- ・**函南町立図書館 2階特別展示「NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の世界」のお知らせ**
（<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/tosyokan.town.kannami/news/taigatenjil.html>）
当館の大河ドラマ関連特別展示の紹介ページ（函南町立図書館公式サイト内）。当館所蔵の関連図書リストや当館作成の「鎌倉殿×伊豆の武士たちゆかりの函南町史跡マップ」がダウンロードできる。
- ・**函南町立図書館 函南町デジタル化資料**
（<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/tosyokan.town.kannami/news/digital.html>）
函南町発行資料のデジタル化資料公開ページ（函南町立図書館公式サイト内）。『函南町誌』や『函南町の文化財』などがあり、函南町の鎌倉時代の歴史や文化財などの情報を閲覧できる。
- ・**ジャパンサーチ**（<https://jpsearch.go.jp/>）
国立国会図書館がシステム運用しており、国内の各機関保有する様々な分野のコンテンツを横断検索・閲覧・活用できるサービス。検索ボックスからキーワード検索ができる。
仁田忠常などの人物絵画の画像も公開されており、閲覧できる。